

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 27 年 5 月 21 日 (2015.5.21)

【公表番号】特表 2014-515797 (P2014-515797A)
 【公表日】平成 26 年 7 月 3 日 (2014.7.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-035
 【出願番号】特願 2014-503693 (P2014-503693)
 【国際特許分類】

E 0 4 H 4/00 (2006.01)

F 0 4 D 35/00 (2006.01)

A 6 3 B 69/12 (2006.01)

【F I】

E 0 4 H 4/00 5 0 2 B

F 0 4 D 35/00

A 6 3 B 69/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 30 日 (2015.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

造波プール (100) において、
 水を保持するように構成され、その中での利用者のレクリエーション活動を促すのに十分な大きさのある槽 (120) と、

前記槽 (120) の中央に近接する場所に配置されている波生成メカニズム (104) であって、波エネルギーが前記波生成メカニズム (104) から外に向かって多方向に進むように前記水を押し退けることによって、前記波生成メカニズム (104) から外に向かって前記槽 (120) の外周 (106) へ向けて前記水の中を伝播する波を生成するように構成されている波生成メカニズム (104) と、を備えており、

前記造波プール (100) は前記槽 (120) の外周 (106) の方向からの水を前記波生成メカニズム (104) の方向に向けて後退させるように循環させるように構成された集水システム (110) を備えており、

該集水システム (110) は、前記槽 (120) の中に配置され、集水するように構成された排水部 (130) と、及び

該排水部 (130) からの集水を受け入れるとともに、該集水の流れを前記波生成メカニズム (104) に向けて促すように構成された輸送機構 (140) とを備えていることを特徴とする造波プール (100)。

【請求項 2】

前記造波プール (100) は前記槽 (120) を囲むように少なくとも実質的に 360 度のビーチフロントを備えており、前記波生成メカニズム (104) は、外に向かって前記ビーチフロントへ向けて少なくとも 4 通りの異なった方向に伝播する波を生成するように構成されている、請求項 1 に記載の造波プール (100)。

【請求項 3】

前記波生成メカニズム (104) は、それぞれの押し退け装置が波を異なった方向に生成するよう構成されるようにして多角形配列に配置されている複数の押し退け装置を備え

ている、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 4】

前記造波プールは、前記波生成メカニズム (1 0 4) を少なくとも実質的に囲むように配置されている有孔防壁を備え、その結果、水は前記有孔防壁を通過することができ、前記槽 (1 2 0) の前記外周と前記有孔防壁の間の区域の利用者は前記波生成メカニズム (1 0 4) へのアクセスを遮断されるようにしている、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 5】

前記波生成メカニズム (1 0 4) は、単一の押し退け装置であって、角度の付いた面を有しているか又は当該押し退け装置の周りに延びていて当該押し退け装置を作動させると水が異なった時期に押し退けられるように前記水に接触するよう構成されている複数の異なった面を有している単一の押し退け装置、を備えている、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 6】

前記波生成メカニズム (1 0 4) は、複数の波パターンを生成するように順に起動されるように構成された複数の押し退け装置、を備え、前記複数の波パターンは前記波生成メカニズム (1 0 4) の周りに形成される螺旋波を含んでいる、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 7】

前記輸送機構 (1 4 0) は、前記槽 (1 2 0) の底部の下に又は前記槽に沿って配置されている配管を備えており、前記排水部 (1 3 0) は前記外周 (1 0 6) に近接して配置されている、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 8】

前記波生成メカニズム (1 0 4) は、ブランジャを、前記水中に、縦方向に挿入する、縦揺れさせる、又は横揺れさせることによって、前記水を押し退けるように構成されているブランジャシステムを備えている、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 9】

前記波生成システム (1 0 4) は、水押し退け媒体として機能している単一のブランジャを備えており、前記ブランジャの表面機構は前記波を前記波生成メカニズム (1 0 4) から遠ざけるように方向づける、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 10】

前記表面機構は、前記水を非均一に打ちつけるように構成されている、請求項 9 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 11】

前記波を前記波生成メカニズム (1 0 4) から遠ざけるように方向づけるように機能する、表面機構又は関連付けられている経路を有する複数のブランジャを備える、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 12】

前記波生成メカニズム (1 0 4) は、閉じ込め機構の一部分を上昇又は下降させて、前記閉じ込め機構内に配置されている蓄積された水を放出して前記閉じ込め機構から多方向に流出させるように構成されている放出メカニズムを含むアクチュエータを備えている、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 13】

前記波生成メカニズム (1 0 4) は、該波生成メカニズム (1 0 4) の周りの複数の流れ経路の配列の中へ水を放出するか又は空気を圧縮するように構成されている弁を含むアクチュエータを備えている、請求項 1 に記載の造波プール (1 0 0)。

【請求項 14】

造波プール (1 0 0) 内の中央の場所から当該プール (1 0 0) の外周 (1 0 6) へ向けて波を生成する方法において、

波が水の中を伝播されるように、前記造波プールの中の前記水を前記中央の場所に配置

されている波生成メカニズム(104)を介して押し退ける段階と、

前記波が前記波生成メカニズム(104)から外に向かって多方向に当該波生成メカニズム(104)を少なくとも実質的に取り囲んでいる汀線区域まで伝播するように、前記波の方向を方向付け機構を用いて制御する段階と、を備え、

前記プール(100)の外周(106)の方向からの水を前記造波プール(100)の集水システム(110)を介して前記波生成メカニズム(104)に向けて後退するように循環させる段階と、

前記造波プール(100)の中に配置された排水部(130)を介して集水する段階と、及び、

前記排水部(130)からの集水を受け取り該集水を前記波生成メカニズム(104)に向けて流れを促す段階とを備えたことを特徴とする方法。